

No.	208	<h1>カートンドッグづくり</h1>			
概要	牛乳パックに入れたホットドッグを燃やして温め、カートンドッグを作る。				
内容	人数(人)	4~60人	時間	2~3時間	
	対象	どなたでも	時期	通年	
	場所	試食・調理室、玄関横			
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導			
安全管理	引率者による監視				
ねらい	○自分でカートンドッグを作って食べることで、体験の楽しさを味わう。 ○火の扱いを知り、安全に気をつけて活動する。				
準備	施設から貸出	・たき火台、耐火シート、耐火グローブ、圧電式ライター ・アルミホイル、食器セット、布巾セット(食器拭き、台拭き、床用雑巾)			
	団体で準備	・牛乳パック(1000mL) ・軍手(ゴムがついていないものが望ましい)			
	確認事項	・食物アレルギーの有無を確認する。 ・引率者は職員と実施方法や監視体制・安全管理等について事前に確認を行う。			

	内 容	留意事項
予約	①予約時に、アレルギーの有無を確認する。 ②申込書により、材料を注文する。 ③班編成(人数×グループ数)を相談する。 ④活動前の準備について打ち合わせておく。	①該当者はアレルギーの申請が必要 ②材料…6個分から注文可 <注文数の変更>3日前(祝日、休所日、土日を除く)の正午までとする。
活動前	<担当職員との打ち合わせ> ・進行方法、時間設定、班編成の確認 ・安全上の注意、監視体制について確認 ・食材、ふきんセットなどを受け取る。 ・試食・調理室の使い方、片付け方を確認。 ・消火方法と掃除、点検について確認。	<団体が行う> ・材料を計量し、人数やグループ数に応じて分ける。 ・火おこし、火の安全管理、消火。 (火の安全管理をする引率者が必要)
活動の説明	<職員による説明> ・活動の流れ、活動場所、片付けについて ・作り方、注意事項について <安全上の注意> 火傷やケガをしないために ・走らない。 ・道具の取り扱い、道具の置く場所など、周りに注意。 ・火を扱っている間や片付けの際は必ず軍手を着用する。 (熱いものを持つ際は、軍手の上から耐火グローブを着用する。)	・準備から片付けまでが研修であることを徹底する。 ・衛生面には十分に気を付ける。 <引率者>火傷や火災事故等がないように、安全監視を行う。
展開	1)準備 ・食器を洗う。 ・材料を洗って、人数やグループ数に応じて分ける。 ・耐火シートの上にたき火台を準備する。 2)焼いて食べる。 ・パンにウインナー、レタスをはさみ、アルミホイルで2重に包む。 ・牛乳パックに入れ、たき火台の上に置く。 ・牛乳パックの口に火をつけて燃やす。 3)片付け、清掃、点検、ゴミ捨て ・片付け終了後に職員の点検を受ける。 ・ゴミは袋に入れ、ゴミステーションに捨てる。 4)ふりかえり	○調理器具は、使用前・使用後ともに洗浄して使用する。 <片付け> ・たき火台とそのまわりの掃除。 ・使った食器を洗って片付ける。 ・その他の使った道具を片付ける。